

文人に愛されし湯の街、 浅間温泉で過ごすひととき。

自分だけが見つけた狭い路地、悠久の時を感じる史跡。
昔ながらのレトロな建築物や看板、あくびしながら歩く猫。
ゆ〜っくり散歩を楽しんで、温泉に浸ればあぁ極楽。
ひと風呂浴びればおなかも空く。さぁ、なにを食べようか。

浅間温泉の 歴史から

くる人多き筑摩の湯、西に北アルプスの山々の眺望。伝承によると、大和朝廷貴族の別荘地から始まった浅間温泉は、「束間(ツカマ)の湯」と呼ばれ以後「筑摩の湯」と改められました。歴史の名残 鎌倉時代には、守護北条氏が領有し、新しい国司が来るたびに浅間のいで湯に馳せ参じ武士達の

奥座敷となっていました。さらに、石川氏、小笠原氏、戸田氏・・・歴代の領主は「士族の湯」を持ち人民の湯とは分けられていました。現在も「御殿の湯」などその面影が名前に残っています。人の歴史は変わっても豊かな湯量とおもてなしの心は変わりません。

右下の、
六助池
周辺地図
につづく

